

安全衛生活動

R6.12月号

交通労働災害を防止しましょう

年末年始は、取り扱う荷物量の増加や、配送日時等の指定や制約、帰省やレジャー・買い物など運転に不慣れな一般車の増加など安全に配送するために支障となるリスクの増加が予想されます。この時期は日暮れが早く、特に12月は1年のうちで交通事故が多発する傾向にあります。冬場の自動車運転を安全に行うためのポイントとして労働安全衛生関係法令の遵守とあわせて「交通労働災害防止のためのガイドライン」の内容についても今一度確認しましょう!!!

●関係法令とガイドラインの内容とあわせて 特に注意をお願いしたい安全運転のポイント

- ① 長時間運転、夜間時、渋滞時 ・できる限り昼間を中心とした運転とし、連続運転時間が長くないよう休憩をこまめにとる。
 - ・事前に十分な睡眠をとっておく。
 - ・渋滞時には視野を前方に広めにとる。
 - また、こまめな休憩をしてリフレッシュする。
- ② 日没時 ・夕日が目に入る場合はサンバイザーやサングラス を活用する。
 - ・見づらい場合は、車を止め目が慣れるまで待つ。
 - ・ライトは早めに点灯し、周囲に存在を知らせる。
 - また、スピードは控えめにし、周辺へ注意を払う。
- ③ 高速道路 ・速さに慣れると車間が短くなる傾向があるので、車間は多めにとる。
 - ・高速道から一般道へ降りた直後は速度超過の傾向があるので注意する。
 - ・ETC通過時は決められた速度を守る。
- ④ 雪道走行 ・降雪に備えタイヤチェーン等を準備する。
 - また、装着等は装着場など安全な場所で行う。
 - ・急ハンドル、急ブレーキ、急発進をしない。
 - ・車間を多めにとり早めの減速を心がける。
 - ・凍結路面の通行は避ける。



安全運転意識の向上を取り込むように宜しくお願いします。

作成者：邢佳鵬



お客様と共に成長し、

すばらしい未来をつくる